



北海道議会議員

ただひろ

佐藤 禎洋

令和8年4月号

発行/佐藤 禎洋 政務調査室

ドイツルール地域連合北海道友好議員団 来樽

4月15日から20日まで来道されたドイツルール地域連合北海道友好議員団（議員3名、事務局4名）が4月17日に小樽市の視察に来られました。

「親善交流を進めることにより、相互理解と友好を深め、ルール地方と北海道の発展のために努力し、経済、教育、文化など各般にわたる分野の交流を一層推進すること。」を目的としています。

当日は①迫俊哉小樽市長と中野豊小樽商工会議所会頭への表敬訪問、②小樽市総合博物館での日本遺産「炭鉄港」について、③庄坊番屋さんでの昼食、④旧岡崎家能舞台と能面体験、⑤奥沢ダム（北海道最古の水道用ダム）、⑥北海道ワインさんでの道産ワイン試飲会、⑦小樽ビールさんでの歓迎会、など盛りだくさんの視察内容でした。

① 迫俊哉小樽市長と中野豊小樽商工会議所会頭への表敬訪問



※ポイント1
ドイツ西部のルール地方は、炭田を基盤に鉄鋼・機械・科学で発展しましたが、現在は産業転換を進め、世界遺産「ツォルフェライン炭鉱業遺産群」のような炭鉱跡地を活用した観光や文化事業が盛んな都市圏（約525万人）へと変貌を遂げています。



②小樽市総合博物館での日本遺産「炭鉄港」について



※ポイント2

炭鉄港（たんてつこう）は、空知の「炭鉱」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、これらをつなぐ「鉄道」を舞台とした北海道の近代化産業遺産群です。明治から昭和にかけて北海道の産業革命を支え、2021年に日本遺産に認定された、100年の歴史を持つエリア一体となった物語です。

③庄坊番屋さんでの昼食



④旧岡崎家能舞台と能面体験



※ポイント3 北海道視察の中で断トツの1番人気でした。能面師の外沢照章氏とボランティアのみなさんに、あらためて感謝いたします。

⑤奥沢ダム（北海道最古の水道用ダム）

※ポイント4

小樽市水道局が管理していた水道用ダムである。1914年（大正3年）の完成後、約1世紀にわたって小樽市民の水がめとして稼働してきたが、2011年（平成23年）6月に堤体に陥没が見つかり、補修に多額の費用を要することから、同年8月に廃止された。



⑥北海道ワインさんでの道産ワイン試飲会



※ポイント5

「HOKKAIDO WEIN」のマークに使用しているWEINはドイツ語。

浦臼町に日本最大規模となる自社農園「鶴沼ワイナリー」を所有。また、小樽市をはじめ、道内32市町村、約400軒の農家とも契約。生産量も2010年現在では十勝ワインを抜いて北海道1位、全国でも6位となっている。国産ブドウ使用量は全国1位。

⑦小樽ビールさんでの歓迎会



感謝・感謝・感謝！

日独友好北海道議会議員懇話会（会長：村田憲俊道議）は今後ドイツルール地域連合北海道友好議員団とどのように交流（経済・文化・教育等）を深めていくか、懇話会の幹事長代行という立場で検討を進めていきます。

今回お世話になった皆様に感謝申し上げます。
ありがとうございました。